

<b>カフェンストロール・ジメタメトリン・ダイムロン・ベンゾピシクロン粒剤</b> <b>キクトモ1キロ粒剤</b>	<b>取扱メーカー：</b> クミカ <b>原体メーカー：</b> エス・ディー・エス，日産， エス・ディー・エス，エス・ディー・エス
<b>成分：</b> カフェンストロール〔酸アミド系 PRTR・1種〕…3.0% ジメタメトリン〔トリアジン系〕……………0.60% ダイムロン〔尿素系〕……………9.0% ベンゾピシクロン〔ピシクロオクタン系〕……………3.0%	<b>性状：</b> 淡褐色細粒 <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> —

### 【品目特性】……………

- 殺藻効果のある初・中期一発処理除草剤である。
- 水稲に対する安全性が高く，田植同時処理が可能である。
- アシカキ，イボクサなどの侵入雑草に対して効果がある。
- スルホニルウレア剤に感受性が低下したアゼナ類，ホタルイなどの雑草（スルホニルウレア剤抵抗性雑草）に対しても，発生前から生育期まで，安定した高い効果を示す。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

- 共通注意事項の5．水稲除草剤散布 使用上のポイントを参照。
- 雑草の発生前から生育初期に有効なので，ノビエの2.5葉期までに，時期を失ないように散布する。
- 多年生雑草は生育段階によって効果にフレがあるので，必ず適期に散布する。

雑草名	散布適期
ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ	2葉期まで
ヒルムシロ	発生期まで
アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生始期まで

### 【薬効・薬害等の注意】……………

- 共通注意事項の5．水稲除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。
- 散布後の数日間に著しい高温が続く場合，初期生育が抑制されることがあるが，一過性のもので次第に回復し，その後の生育に対する影響は認められていない。
- 適用作物（水稲）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用外作物（いぐさ，れんこん，せり，くわい）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

### 【安全対策上の注意】……………

- 魚類，藻類に影響を及ぼすので，使用時並びに使用後も注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。

【適用と使用法】 .....

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植直後～ ノビエ2.5葉期 但し、 移植後30日まで	1 kg	湛水散布	1 回 ※
		移植時		田植同時 散布機で 施用	

※カフェンストロールを含む農薬の総使用回数：1回

※ジメタメトリンを含む農薬の総使用回数：2回以内

※ダイムロンを含む農薬の総使用回数：3回以内（育苗箱散布は1回以内，本田では2回以内）

※ベンゾピシクロンを含む農薬の総使用回数：3回以内